

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	特殊な副伝導路を介するまたは有する頻拍回路の診断方法の探索的観察研究
所属科*	循環器内科
研究責任者*	日本大学医学部附属板橋病院循環器内科、准教授 永嶋孝一
研究実施期間	開始 倫理委員会承認日～ 終了 西暦 2025年12月31日(予定)
対象疾患(予定症例数)	発作性上室性頻拍症(房室結節回帰性頻拍) (30症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 倫理委員会承認日～ 至 西暦 2025年12月31日
研究概要*	<p>発作性上室頻拍において、房室結節リエントリー性頻拍(atrioventricular nodal reentrant tachycardia: AVNRT)と、房室結節-心室間もしくは房室結節-プルキンエ線維間の特殊な副伝導路(nodoventricular fiber もしくは nodofascicular fiber: NV/NF fiber)を介した順方向性回帰性頻拍(orthodromic reciprocating tachycardia: ORT)は、臨床上鑑別することが非常に難しい。¹我々は以前の多施設共同研究で、これらの頻拍の鑑別診断に、右室連続刺激法(エントレインメントペーシング)とヒス束不応期における右室期外刺激法が有効であることを報告し、新しい診断基準を作成した。¹</p> <p>右室エントレインペーシングとは頻拍回路を同定するための連続刺激法のこと、頻拍中に頻拍周期よりも10-40ms短い周期でペーシングを行う。これにより、ペーシングが頻拍回路を乗っ取ることとなり、頻拍回路はペーシングにより興奮する。ひとたびペーシングを中止すると、ペーシングカテーテルからの最後のペーシングから、次にカテーテルに電位が記録されるまでの時間(Post-pacing interval: PPI)を測定する。回路が比較的大きく、右心室カテーテルに近接するNV/NF fiberを介した上室頻拍では、PPI-頻拍周期はく125msとなることを報告した。¹また当頻拍では、右室エントレインメントペーシング中にヒス束が順行性に捕捉されうることも報告している。²</p> <p>一方、右室期外刺激法は、ヒス束不応期における時相で右室より単発刺激する方法である。AVNRTではヒス束が興奮している時相において、この期外刺激は回路上に入り込めないため、頻拍をリセットすることはできないのに対し、NV/NF fiberを介した上室頻拍では、NV/NF fiberを逆行することができるため、そのペーシングにより頻拍をリセットすることが可能である。</p> <p>一方この報告で、これらの頻拍はAVNRTとNV/NF-ORTだけでなく、NV/NF fiberが存在するものの、頻拍回路には関与してい</p>

別紙第2号様式

	<p>ない AVNRT (AVNRT+bystander NV/NF fiber と呼ぶ) という症例も少なからず存在することが明らかになり、近年日本を中心として、この AVNRT+bystander NV/NF fiber の症例報告が散見されるようになった。しかしながら、これらの頻拍は非常に稀有であることから、有病率は不明であり、診断基準も確立されていない。そのため今回我々は、AVNRT+bystander NV/NF fiber の有病率の評価や、診断基準を確立すべく、従来のペースング診断法を用いて、診断に至る新たな所見を探索する。</p>
<p>倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*</p>	<p>研究実施に係る試料等を取扱う際は、研究対象者の個人情報とは関係ない研究対象者コードを付して対応表を作成し、研究対象者のプライバシー保護に十分配慮する。対応表は適切に管理し、他の研究機関へ提供しない。試料等を研究事務局等の関連機関に送付する場合はこの番号を使用し、研究対象者の個人情報が院外に漏れないよう十分配慮する。また、研究の結果を公表する際は、研究対象者を特定できる情報を含まないようにする。研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の試料等を使用しない。</p>
<p>研究の問い合わせ先*</p>	<p>大阪労災病院 担当者： 江神 康之 〒591-8025 大阪府堺市長曾根町 1179-3 TEL：072-252-3561</p>

* 記入必須項目